



地域協働学校・よつろく

運営協議会だより No.4

令和3年10月 代表 田邊 幸三 校長 岩澤 肇

第4回 地域協働学校運営協議会の報告です。

10月5日(火) 17:30~18:30 四谷第六小学校 理科室



◇ 代表より◇

- ・3か月ぶりの会議となります。この間学校の様子がなかなか我々に伝わってこない状態ですが、今後についても具体的に話が進んでいければ、それに向けて協力させていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・新宿区の環境清掃部が絵画展を企画しています。四六小からの応募も増えています。

◇ 校長より◇

- ・オリパラ観戦ですが、他区は取りやめるなか、新宿区は実施ということで当校は9/3に行っていました。参加者は希望制で9割程度が参加しました。
- ・緊急事態宣言解除にあたり、行動制限も緩和されてきています。社会科見学も都外へは出られませんが、3年生は区内巡りに行って来ました。今後、5年生が東京グローバルゲートウェイ、4年生は浅草など都内の見学を予定しています。
- ・今週、全校遠足(新宿御苑)の代替として、全校で縦割りレクリエーション集会を行います。
- ・10/16, 18, 19 分散授業参観(保護者は人数・時間制限をします。)
- ・幼稚園 10/9 スポーツデイ、11月は作品展、12月はミニ音楽会の予定です。
- ・タブレット端末の活用に伴い、保護者の方から荷物の重さを何とかしてほしいという声も届いています。そのため、教科書を置いていくよう置き勉ボックスで対応しています。画面をずっと見続けることによる弊害、ネットいじめが無いようパスワードの管理など、問題が生じないよう学校でも把握に努めています。最終的には道徳心を育てることも大切にしています。

◇ 副校長より◇

- ・保護者同士が集まれず情報交換をする機会が少ないので、不安や心配事がありましたら電話や連絡帳でご連絡くださいということをお返ししています。些細なことでも丁寧にお答えしたいと思います。芝生は10/8の午後にオーバーシードをし、養生期間に入ります。

◇各支援部より報告◇

(緑支援部)

- ・現在活動はありませんが、冬芝の状況で相談しながら進めたいと思います。

(安心・安全支援部)

- ・昨日のあいさつ運動では1年生と6年生が当番でした。6年生が声を出せなかったのが1年生が何をしたらよいかかわからない状況でした。→今回はあいさつ運動も久しぶりで、縦割りの活動もなかったのが、これから何回か経験させますのでよろしくお願いいたします。(佐藤えりか教諭より)

(学習支援部)

- ・あいさつ俳句とポスター入選作品を選出しました。
講評(副代表)・・・自粛期間が長かったので多数の応募がありました。オリンピックの影響で国際的な視野をもったものがありました。ふれあい授業も相談して進めていきたいと思っています。

◇各委員より◇

○ 委員

- ・あいさつ運動で高学年は声を出さないで目であいさつをして低学年は大きな声が出ていました。

- ・1年生の孫のランドセルが重くて、測ったたら3～4kgあり驚きましたが、これを持って歩けば足腰が強くなると思いました。→「重くてかわいそうだが今の子どもたちは体力の低下も問題になっているので、荷物を持つことで体力もつくのではないか。」という意見が出ました。

○ 委員（PTA会長）

- ・コロナの関係でPTA行事やスポカルのイベントが中止になっています。
- ・10/3八校会のソフトボール大会が開催され、四六小が男女とも優勝しました。
- ・小P連では、移動教室や修学旅行が中止となった学年に卒業イベントができないか検討中です。
- ・ゆめ事業は、オリパラの記念メダルが作られ、四六小は6個いただける予定です。
- ・12月サッカーフェスティバルは規模を縮小して5・6年対象で開催予定です。

○ 委員

- ・南元町もこの状況なので何もしていません。
- ・日が短くなり、暗くなるのも早いので事件事故の無いよう気を付けたいと思います。

○佐藤委員

- ・大京町もイベント中止、避難所訓練もなかったもので、町会独自で何かできないか考えています。田邊代表より⇒避難所訓練等で町会と学校の距離感を縮めていくことが地協の大きな役割だと思っていますので、今後、特別出張所の担当の方と話し合う機会を設けて地協の活動を充実していきたいと思います。

○ 委員

- ・NHKの番組を見て、先生方のご苦勞がわかりました。

○ 委員

- ・オリンピックという一生に一度しかない体験を子ども達が共有できたことはプラスになったと思います。同窓会も2年中止になっていますので、来年は開催できればいいと思っています。

◇事務局◇

- ・平成24年から「ひとかみ運動」という名称で資源回収を行っていましたが、昨今のペーパーレス化やコロナにより保護者が来校する機会が減っていることを踏まえて活動を一旦中止し、今後は事前に協議会に諮ったうえで、期間を設定して資源回収(ブックオフを利用)という形にしていきたいと思います。《通帳残高¥24,233- (9/30現在)》→異議なし

◇教育支援課 より◇

- ・パラリンピック観戦について、様々な対応をしましたが、子どもたちからは楽しかったという感想が聞かれました。学区で開催されたオリンピック・パラリンピックに参加したことは地域への誇りや愛着にもつながっていくと思います。

◇ 副代表より◇

- ・内藤町は7月に輪投げをしましたが、今度は秋の神社の掃除を手伝ってもらい、景品を渡したいと思っています。このような場を使い地域の方と触れ合える機会をつくりたいと思います。
- ・コロナ禍、平日1時間以上外で遊ぶ子は2割程度、内藤町公園では子どもの姿を見る機会が減ったと思います。以前は気にならなかってけれど教室がざわざわしている学年や子どもがいるのは感じていて、合わせてタブレットの使用時間もすごく増えていて、やはり子どもは体を動かさないと心身ともに成長しないのかなと思っています。朝や放課後時間、校庭を開放して子ども同士で遊べる時間ができるといいと思います。まだまだ先生方もコロナ対応に苦慮されていることと思いますが、たぶん1,2年生は正面から友達のマスクなしの顔を見たことがないので、校庭で安全な距離をとったうえでマスクを外した友達の顔を見せてあげたいなと思っています。
- ・ミシンの授業に卒業したお子さんをもつ地域の方にお手伝いに入っています。

【出席者】

【今後の予定】 次回 11月9日（火）17：30～ 四谷第六小学校 理科室